

どうする臨床研修先

Point1 実際の声

Case1 初期研修→旭川医大
後期研修→旭川医大

<旭川医大での初期研修最大のメリット>

麻酔科特別コースの存在

～初期研修に最も求めたもの～

研修終了後の自分の進路への**アドバンテージ**

そのために2年間の初期研修で13ヶ月の麻酔科研修が可能となる特別コースを選択

その甲斐あって、最年少で経食道心エコーの資格である**JB-POT**
Japanese Board of Perioperative Transesophageal Echocardiographyに合格!!

<後期研修に求めたもの>

専門医になるために必要な**スキル**を習得できる

<麻酔科専門医取得に必要な症例数>

→旭川医大での研修なら経験可能!!

小児(6歳未満)の麻酔	25 症例
帝王切開術の麻酔	10 症例
心臓血管手術の麻酔	25 症例 (胸部大動脈手術を含む)
胸部外科手術の麻酔	25 症例
脳神経外科手術の麻酔	25 症例

Case2 初期研修→旭川厚生
後期研修→旭川医大

<旭川厚生での初期研修最大のメリット>

マンツーマン指導

～初期研修に最も求めたもの～

働きやすく学習しやすい環境

<後期研修に求めたもの>

初期研修は少人数からタイトな指導を受けたので、
後期研修では**指導医が充実**しており、日々の業務で教育が受けられることを優先

<麻酔科関連領域専門医>

- 麻酔科専門医
- 麻酔科指導医
- 蘇生学会指導者
- 航空医療学会認定指導者
- 心臓麻酔専門医
- ペインクリニック専門医
- 集中治療専門医
- 救急専門医
- JB POT

NBE : National Board of Echocardiography

EDRA : European Diploma in Regional Anaesthesia & Pain Therapy

<Option : 充実した勤務環境>

→働きやすい環境整備のため麻酔科では以下のことが保証されております!!

- ①**当直明けは午後フリー** : 夜中にどんな手術があっても、翌日午後は完全フリー
- ②**学会支援が充実** : 国内、国外学会参加へは”科”を上げてサポートします!!
- ③**資格取得支援も充実** : アメリカ・ヨーロッパでの海外ワークショップへの参加も支援!!



アメリカ麻酔学会 in サンフランシスコ

Point2 麻酔科の取り組み

～初期研修医～

プラチナタイムの実践

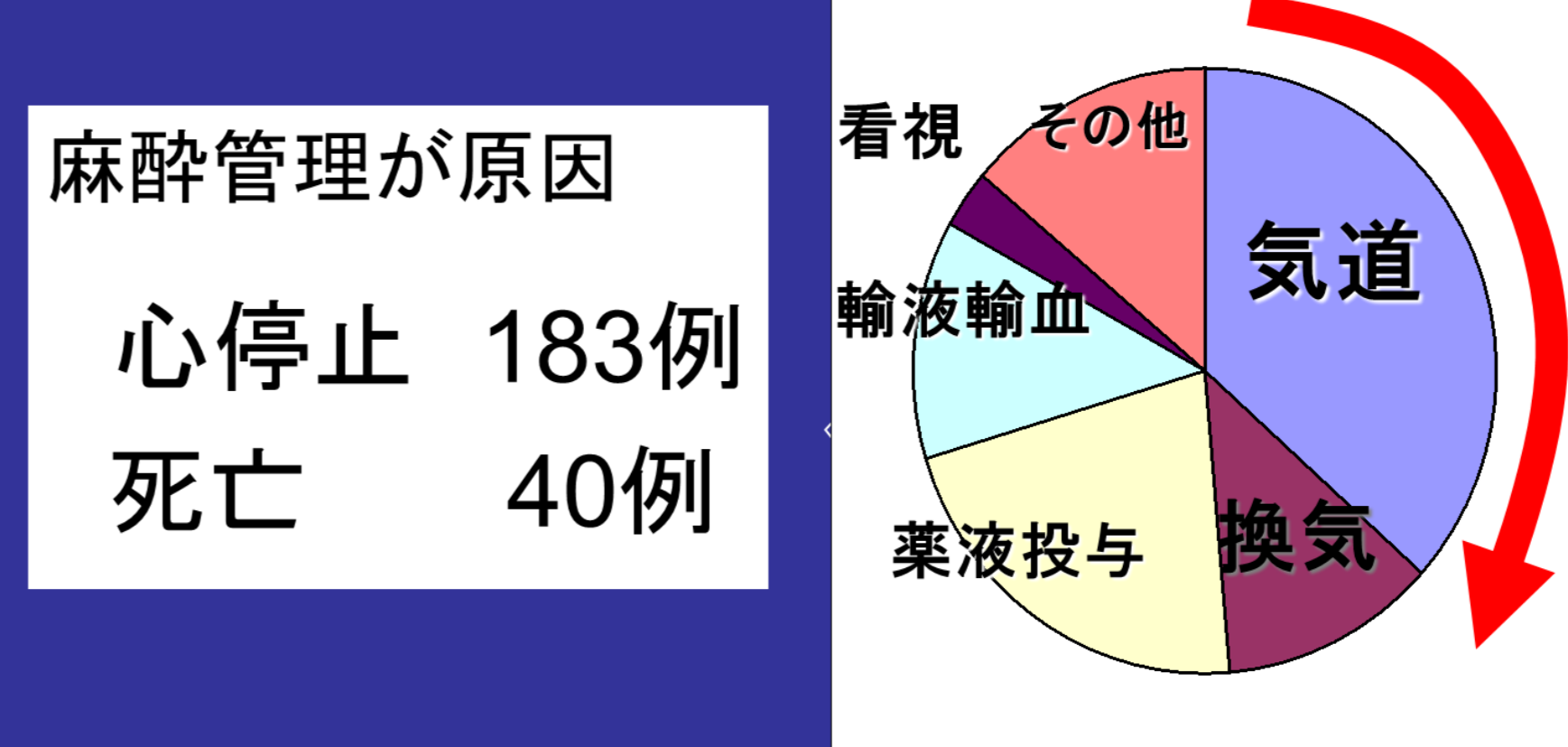


～**プラチナタイム**とは～

死亡事故リスクの高い全身麻酔時の導入を**急変対応**の場と考え、事故回避のために必要なスキルを学ぶ1例あたり**5～10分程度**しか体験できない貴重な時間のこと!

麻酔関連死亡の解析

麻酔関連偶発調査1999-2002(麻酔53, 2004)



死亡原因: 気道呼吸トラブルが多い!

* 麻酔科初期研修の目標として *

プラチナタイムを有効活用し自分の**テクニカルスキル**(ルート確保、マスク換気、気管挿管 etc.)と**ノンテクニカルスキル**(コメディカルへの適切な指示、患者の状態把握 etc.)を育みながらチーム医療を実践できることを掲げ、研修終了時には自信を持って急変対応ができます。

～後期研修医～

専門スキルの習得

<心臓麻酔>

日本で最多の心臓麻酔専門医を有し、他施設からも研修者が来る、旭医麻酔科の花形

<静脈麻酔>

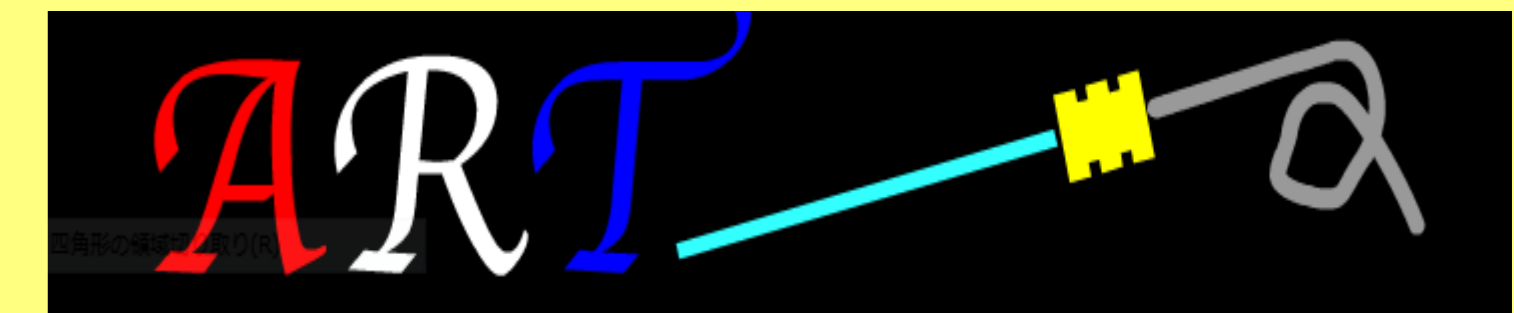
何かと話題の静脈麻酔薬。適切な知識と技術があれば患者さんにとって有害なことは起こしません!!

<気道管理>

麻酔科医の最も得意分野。急変時の対応でも必須なA(Airway)
本年度の**日本麻酔学会最優秀演題**も当科の気道関連演題で獲得!!

<末梢神経ブロック>

いまや術後鎮痛のスタンダード。旭医は日本のブロック界を牽引中。学会インストラクター多し!!



<筋弛緩>

岩崎教授の専門。昨年は世界筋弛緩会議を主催しました。臨床・基礎ともに研究して海外学会に行こう!

<ペインクリニック>

日々痛みの患者さんと真摯に向き合っています。毎日、ペインクリニック外来、診療中です。

高い専門性を有しつつ、人材豊富で教育熱心な麻酔科で
研修してみませんか??